

# 進路だより



岡山県立  
倉敷琴浦高等支援学校  
令和3年3月号

去る3月5日、前日から雨が心配されていましたが、卒業生の門出を祝うかのように明るい日差しの中、9期生24名は倉敷琴浦高等支援学校を巣立ちました。

思えば（おそらくコロナの影響でしょうが）、前提実習を受けて頂いた事業所から「今年度の採用枠はありません」と後になって言われた人がいたり（複数）、自分に合う進路先とはいったいどこなのか最後の最後まで悩んだ人がいたり。社会情勢と同じで、『例年通り』とはいかない年でした。

「進路を決めること」…これは、周りが「こうしなさい」と言うだけで決められるものではありません。学校での授業や実習の様子から適性を見て進路指導をしますが、最終的には本人が納得して決めることが大切です。

9期生24名は、卒業後すぐに就職することを選んだ人、卒業後数年は自分の力を伸ばして、その後に就職することを選んだ人の二通りです。「就職」という目標は同じですが、道は一人一人それぞれ違います。

1・2年生のみなさんは、どんな道を選びますか？



## 新年度の準備・・・

「職業」の授業で、1年生は「働くために大切なこと」として、『睡眠時間』『食事』『体力づくり』について話をしました。働くことに直接は関係ないことのように思えるかもしれませんが、実は、このような基本を大切に考えることが必要なのです。

卒業生の中でも、職場の人間関係がうまくいかなくなって離職につながる根本の原因が、生活習慣の乱れからくる睡眠不足だったり、食生活の乱れからくる不規則な排便習慣だったりします。極端なようですが、ほんとの話です。

例えば、『最近、仕事に集中できていないようだ』とか、『最近、勤務中にトイレにこもることが目立つのだけど…』等と職場の方から連絡をいただくことがあります。職場の様子を見に行くと、『夜遅くまでゲームがやめられなくて』などの原因が明らかになり、御家族の協力も得ながら生活リズムを整えていこうという話をしたりすることもあります。生活習慣は1日やそこらで身につくものではありません。今から、生活を見直しておくようにしましょうね。

また、2年生では、新年度4月に予定している「求職登録・職業相談」に向けて登録用紙の記入をしました。『求職登録』は、ハローワークに仕事を紹介してもらうために必要な手続きです。先日の個別懇談で各コース主任とも確認したと思いますが、卒業後の進路先について、本人・保護者でしっかり考えて、方向性を決めて求職登録に臨みます。

来月には3年生になるみなさん、一つ一つしっかり考えて進んでいきましょうね！